

南海トラフ浅部の微動活動 (2023年8月~2023年10月)

・ 8月29日~9月28日にかけて、潮岬沖において活発な微動活動。

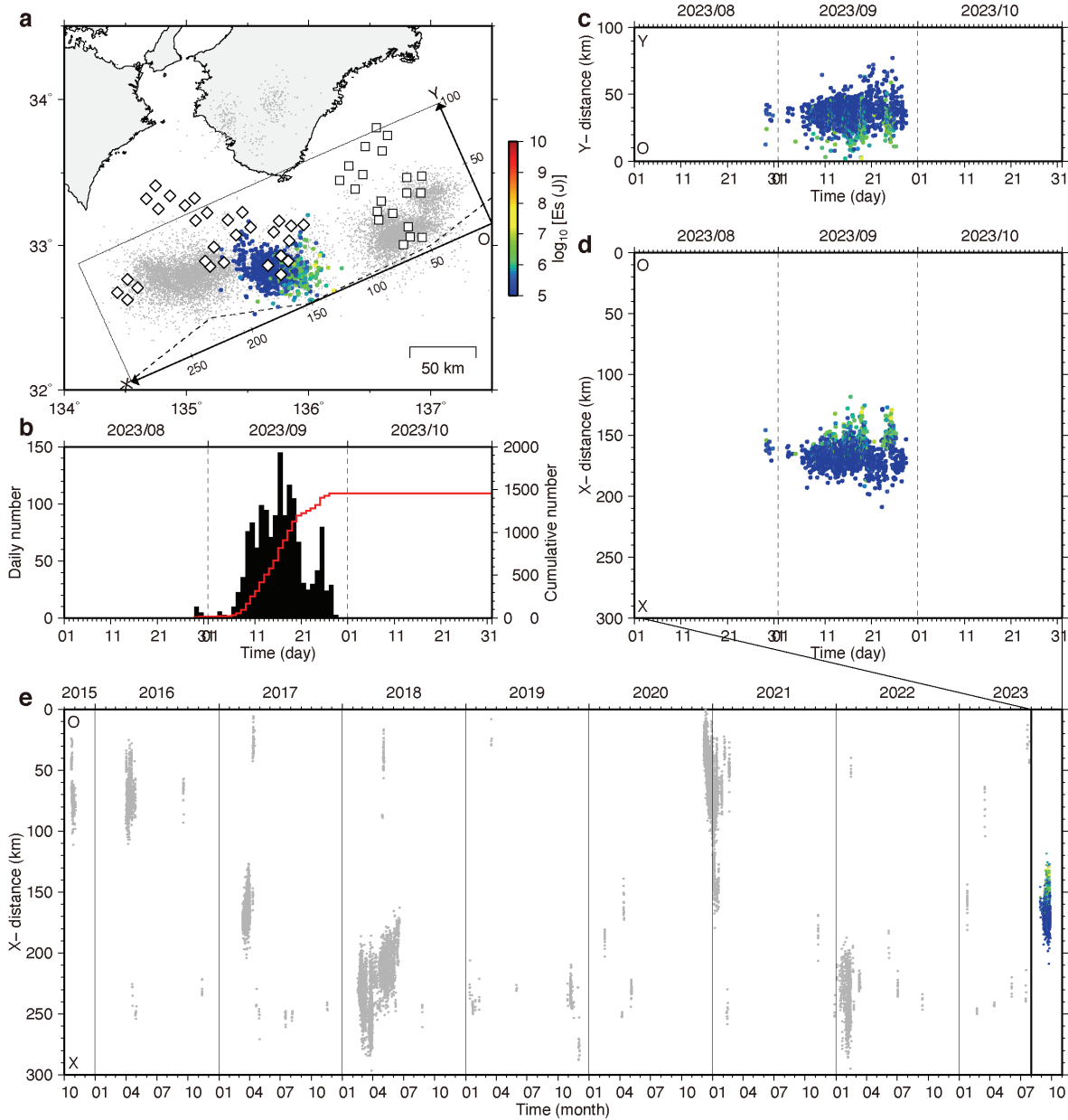


図1：微動の時空間分布。2015年10月1日から2023年10月31日までの処理。(a)微動の震央分布。2023年8月1日以降の微動を色付きの丸、それ以前の微動を灰色の点で示す。色は微動の地震波放射エネルギーを表す。□◇はそれぞれ DONET1, DONET2 観測点。点線は海溝軸。微動の検出・震源決定にはエンベロープ相関法(Ide, 2010; Ohta et al., 2019)を用い、DONET1・2の水平2成分速度波形(2-6Hz)を使用。エネルギー推定はYabe et al. (2019, 2021)に基づき、DONET1・2の3成分速度波形(2-8Hz)を使用。2023年8月29-30日、9月2-4日の断続的な活動を経て、9月6-28日にかけて潮岬沖で活発な微動活動。DONET2のEノード直下付近で開始し、東西双方向に活動域を拡大。9月27日頃より、DONET2近傍の海域におけるエアガン探査により検出率低下。(b)検出数の日別ヒストグラムと累積。(c)震央の時空間分布。沈み込み傾斜方向(Y軸)に投影。(d)沈み込み走向方向(X軸)に投影。(e)全期間の微動の時空間分布(X軸投影)。